

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区図書館経営協議会（令和7年度第3回）
事務局（担当課）		教育部図書館課
開催日時		令和8年3月25日（水）午後6時00分～午後7時30分
開催場所		中央図書館5階 会議室
議 題		<p>(1) 上池袋図書館 大規模改修の進捗状況について</p> <p>(2) 豊島区読書活動に関する実態調査報告書（概要版）について</p> <p>(3) 子ども読書活動推進計画（第五次）・図書館基本計画（第三次）の策定について</p> <p>(4) その他</p>
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	稲井 達也、河本 毬馨、野中 由香子、春日 美乃 数藤 沙綾、渡辺 ひかる、武井 悦子 岡田 英男、井上 浩徳
	そ の 他	
	事 務 局	中央図書館長【図書館課長】 図書館課 管理係長、資料係長、サービス基盤係長、 政策主査、サービス運用係長 点字図書館係長、点字図書館グループ主任

審 議 経 過

No. 1

傍聴希望者 0名

【本日の会議について】

会長：ただ今より、令和7年度第3回豊島区図書館経営協議会を開催する。

本日の会議について、まず議事について事務局から説明し、その後意見交換を行う。

事務局：本日の議題は「上池袋図書館 大規模改修の進捗状況について」「豊島区読書活動に関する実態調査報告書(概要版)について」「子ども読書活動推進計画(第五次)・図書館基本計画(第三次)の策定について」となる。

【上池袋図書館 大規模改修の進捗状況について】

会長：まず事務局から資料の説明をお願いしたい。

(事務局より資料1について説明)

会長：こちらについてご意見、ご質問があれば伺いたい。

委員：2階の電車席がワーキングスペースのような空間なので、ここでパソコンを使って作業する人も多いと思う。他にPC室があることも周知し、すみ分けをしていく必要があるのではないか。

新聞・雑誌はコーナーから1階などに持ち出すことはできるか。

事務局：電車席もパソコンは可とする予定。新聞と雑誌の持ち出しについては、これから検討させていただく。

委員：写真で中のイメージがわかりやすい。PC室については、持ち込み用パソコンを使う場所で備え付けの物はないという認識で良いか。また、自習室ではパソコン使用不可となっているのか。

事務局：PC室は持ち込みパソコンの利用のみで備え付けのパソコンはない。自習室でのパソコン利用については、音の出ないものであれば使っても良いのでは、という意見もあり現在検討を進めている。

審 議 経 過

No. 2

委員：今まで豊島区になかった図書館となるため、最初は苦情もあると思う。区のコンセプトをどう説明していくのか、現場の準備が必要になってくる。職員の研修などどう運営していくかなど、すでに共有されているものはあるか、今後ミーティングを重ねていく予定なのかをお伺いしたい。

事務局：従来の上池袋図書館と大きく変わるため、これまで利用されていた方は違和感があると思う。職員研修やルール作りをしっかりと行っていきたい。

委員：電車席のような囲まれた空間は好まれるのではないかと思う。地下の閉架書庫は電動、手動は決まっているか。電動だと故障の際の修理が大変なので、ご参考にしていただければと思う。

事務局：手動で動かすタイプを導入している。

委員：一般書架に置かれる本は工事前の上池袋図書館にあった本をそのまま置くことになるのか。閉架書庫にしまうものの選別などはどうしているのかお伺いしたい。

事務局：詳細な構成はこれから考えていくが、大きなコンセプトとして YA 図書を充実させるという方針を打ち出している。一般書架は 342 の棚を設け、11,970 冊を置く予定。

委員：にぎやかな図書館についてのコンセプトを利用者へどのように伝えていくのか。

事務局：事前周知が重要なため、ホームページやパンフレットを作成して周知していく。1 階と 2 階のゾーニングについても同様に行っていく。

委員：閲覧席の時間制限を設けている図書館があると思うが、にぎやかなエリアは時間制限があるのか。

事務局：閲覧席は時間制を導入しているが、それ以外の場所については時間の制限なく利用いただける。

委員：にぎわいのエリアである 1 階はいろいろな世代の方が利用することとなると思うが、大まかなすみ分けのようなものはあるか。

事務局：児童コーナーと YA コーナーで分けてはあがあるが、できるだけ自由に使えるようにしたいと考えている。

【豊島区読書活動に関する実態調査報告書（概要版）について】

会長：続いて「豊島区読書活動に関する実態調査報告書（概要版）について」、事務局から説明をお願いしたい。

（事務局より資料2、資料3について説明）

会長：小中学校の読書活動が非常に重要となっているが、学校を巻き込むような取り組みは行っているか。

事務局：学校連携として、区の司書がうかがってブックトークやおはなし会を行ったり、図書館に子どもたちを招いて図書館見学を行ったりしている。また、学校から依頼のあった本を郵送で送る団体貸出も行っている。

会長：小中学校の先生が子どもたちに本を勧めていかないと、なかなか子どもの読書活動は進まない。

委員：東京都の数値を比較していくと、豊島区は読書好きな子どもは多いが不読率も高い。読書をする子としない子の分断が大きいと感じる。令和元年度の数値から落ちてしまっているのはコロナ禍の影響もあると思うが、なにか要因があればお伺いしたい。

事務局：子どもにとどまらず、大人も図書館への来館が減っており、コロナ禍以降完全に切り切れていない。詳しい分析はしきれていないが、大人が来ないと子どもも来ないという連鎖反応が起きている可能性がある。

会長：コロナ禍のギガスクール構想で子ども1人に1台電子機器端末が配備された。若い先生の中には図書館の本を使わず端末だけで完結させる方もいる。そういった影響も出ていると思う。

委員：中高校生の目標数値について、令和元年度の時点で60%以上の結果が出ているなかで目標を50%にした理由はなにかあるのか。

事務局：東京都の目標値に合わせて設定しているためそのような数値となっている。

委員：小中学生の不読率の高さに驚いた。公共図書館だけでは難しいと思うので、学校図書館と連携することが大切だと思う。以前、各校に1人図書館司書を配置し、コーディネーターを導入するという話があったが、具体的に進んでいるのかお伺いしたい。また、調べ学習における連携も大切だと思う。学校に聞くと調べ学習の計画なども分かると思うのでできるところから始めていくとよいのではないかと。

事務局：今年度から学校図書館司書連絡会に公立図書館司書も参加し連携を深めていく。現在各校に需要調査を行っている。小学校は1校につき、週に2回（中学校は週に1回）は必ず司書を配置することとなったが、公立図書館司書がそれを支援する方法を検討中。コーディネーターについてはまだ具体的になっていないが、学校図書館司書、公立図書館司書を対象に学識経験者の方から専門的な話を聞く研修を実施している。

委員：1人1台タブレットが導入されたとき、それまで休み時間に本を読んでいた子どもタブレットでタイピングゲームをやっていたりしたので、そういった影響はあるのではないかと。SNSや動画サイトは見られないという規制はあったが、そういった制限についてはまだ検討の余地があるのではないかと。また、小学生の不読率が10%をこえているが、以前豊島区の小学校では毎朝読書時間が設けられていたが、今も小中学校で読書時間はあるのかお伺いしたい。また、豊島区の中学校では職場体験を行っているが、図書館の職場体験もあると喜ばれるのではないかと。

事務局：調査には朝読書も含んでいるため不読率の高さに驚いている。どの学校でどの程度朝読書を行っているかの詳細までは調べられていないが、ほとんどの学校で実施していると思われる。また、小学生のアンケート回答において学校ごとに先生のフォローが難しいところもあったのではないかと考えられる。問いの意図が伝わり切らなかったのも一因ではないか。職場体験について、学校から依頼があれば受け入れを行っているが、学校によって職場体験の候補に挙がっていないということなので、こちらからも働きかけを行っていききたい。

会長：読書活動の全校調査のようなものは区立小中学校ではまだないのか。学校としてどういった読書活動を行っているかを調べないと図書館だけでは大きな効果は得られない。

委員：資料の見方について、地域図書館の活用頻度の数字が合致しない箇所があるのでお伺いしたい。

事務局：ご指摘の数値は全編から抜き出しているものになる。

【子ども読書活動推進計画（第五次）・図書館基本計画（第三次）の策定について】

会長：続いて、「子ども読書活動推進計画（第五次）・図書館基本計画（第三次）の策定について」事務局から説明をお願いしたい。

（事務局より資料4，参考資料1，参考資料2について説明）

会長：委員のみなさまよりご意見、ご質問を伺いたい。

会長：子ども読書活動推進計画の中に「主体的・対応的に深い学びの支援」とあるが、学習指導要領の改訂に向けて昨年論点整理が出され、その中に「主体的・対応的に深い学びの実装」というのが示されている。そこにデジタル学習基盤を充実させていくということが入っているので、調べ学習もこれらに関連性がある。そういった視点も含めていくと良いと思う。

委員：子ども読書活動推進計画について、読書の対象となる範囲が変わってくる可能性があるが、ご存じのことがあればお伺いしたい。図鑑やオーディオブックは含まれるのかなど。

事務局：東京都では、今後は図鑑やマンガ、オーディオブックも含むという方向に変わってきている。豊島区はこれまで東京都の指標に合わせたものと、豊島区独自のマンガも読書の対象に含めたものとの2つの調査を行ってきた。次の調査は東京都も豊島区がこれまで行ってきた調査と近いものになるので今後も引き続きこれまでと同様の調査を行うこととなると想定している。オーディオブックはこれまで対象として考えてこなかったが、今後取り扱いについて検討する。

委員：高校生の読書について、区立図書館と豊島区内の高校が協力して行ってきたことはあるか、また、今後の連携についてもお伺いしたい。

事務局：今年の5月で池袋保健所が移転をするに伴い、その跡地に「YA 図書館サテライト」という子どもたちの居場所づくりを進めている。その検討のなかで、豊島岡女子学園の生徒とワークショップを行い意見を募っている。

会長：区内にさまざまな高校があるので、図書委員を募って図書委員サミットなどいい連携ができるのではないかと。

委員：計画の目標値について、東京都を基準としているということだが豊島区としての目標値を設定することは検討しているかお伺いしたい。

事務局：基本的には東京都の指標に準じて設定してきたが、それにこだわらず、豊島区としての指標設定も検討していきたい。

委員：高校生を対象とした施策について、図書館に来た時、高校生としてではなく一人の利用者としていられる空間が心地よかったので、あえて高校生をターゲットとして絞らなくて良いのではないかと。だれもが過ごしやすい場所となればおのずと高校生も集まってくると思う。また、多くの高校生は勉強目的で来るので、受験勉強と本を絡めるなど勉強に関することで推進していくのが良いのではないかと。2点目としてAIの活用について、例えばAIに本をお勧めしてもらったらそこからボタン一つで予約ができるようにしないと中高生は借りないと思う。

事務局：きっかけ作りは重要だと考えている。調査結果では読書は好きだけど本は読まないという状況となっているが、きっかけさえあれば読む機会があるのだと考える。その一つとしていただいたAI活用のご意見も参考とさせていただく。

会長：AIを導入する場合、個人情報の取り扱いは非常に慎重にならなければならない。好みなどを学習していくので、自治体として乗り越えなければならない課題は多い。

委員：基本計画の指標は重要だが、どういったものを考えているかお伺いしたい。

事務局：これからは居場所としての図書館として、「滞在時間」も一つの指標となり得ると考えている。実際の利用時間は利用者アンケートで調査する。

【その他】

会長：本日の議事は以上となる。最後に、その他について事務局から報告をお願いしたい。

(事務局より事務連絡)

会長：以上で令和7年度第3回図書館経営協議会を終了する。

審 議 経 過

No. 7

会 議 の 結 果	
提出された資料等	<p>資料 1…上池袋図書館 大規模改修の進捗状況について 資料 2…豊島区読書活動に関する実態調査報告書（概要版）について 資料 3…豊島区読書活動に関する実態調査報告書（概要版） 資料 4…子ども読書活動推進計画（第五次）・図書館基本計画（第三次）の策定について</p> <p>参考資料 1…豊島区基本構想・基本計画 多様な役割を持つ新たな図書館の実現、豊島区立図書館基本計画（第二次）の概要について 参考資料 2…第五次東京都子供読書活動推進計画（案）について</p>